

ふじいでら 社協だより

No. 48

社会福祉法人
藤井寺市社会福祉協議会
〒583-0035 藤井寺市北岡1-2-8
ふれあいセンター(福祉会館)内
TEL 072-938-8220
FAX 072-938-8221
http://www.fujiidera-shakyo.net
E-mail fureai@silver.ocn.ne.jp

赤い羽根共同募金

70th スタート

赤い羽根
共同募金
10月1日〜12月31日

10月1日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。また、12月中は歳末たすけあい募金もあわせて行います。今年、共同募金運動は70回目を迎えます。これまでにつないでいただいた皆さんの優しさのバトンを一緒につなぎませんか？



共同募金コーナーの様子(市民まつり)

募金の使い道

藤井寺市で集まった募金は、大阪府共同募金会に送金し、集約されます。そして・・・約7割が藤井寺市の福祉

委員会の活動や福祉団体の活動支援に約3割が大阪府内の福祉施設の備品や車両等の整備に配分され、活用されています。

平成28年度 募金による配分(27年度実施分)

今年、藤井寺市内で一カ所の施設と、社協の事業に対する配分を受けました。温かいご支援ご協力をありがとうございます。

- 藤井寺市社協 福祉委員会活動事業、当事者団体への活動支援等
- 障害者地域生活支援センターわっと
- デジタル印刷機の整備

募金の方法

・街頭募金
10月3日に市内の駅前や店頭などで、募金の呼びかけを行います。

「自分たちのまちを良くする仕組み」共同募金にご協力をよろしくお願ひします。

募金の使いみち
www.akaihane.or.jp
●赤い羽根デパート「はなつと」をご覧ください。



街頭募金の様子

戸別募金

区長会を通じて、各世帯に募金をお願いをします。

学校募金

学校の児童、生徒の皆様にご協力頂いています。

イベント募金

「市民まつり(9月19日)」、「デラハロ(10月29日)」で、共同募金コーナーを開設します。

バッジ募金

1個500円です。社協窓口やイベント募金時に受け付けます。団体からの申し込みも受け付けます。



今年度の記念バッジ

限定グッズ募金

どちらも社協窓口またはデラハロで受け付けます。○初音ミクのバッジ
今年、クリエーターのシノノコさんがデザインした初音ミクのピンバッジがあります。50個限定1個500円です。



Illustration by シノノコ
© Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

○妖怪ウォッチのステッカー
今年も妖怪ウォッチと赤い羽根共同募金がコラボしました。100円以上の募金にご協力頂きましたお子様にプレゼント。限定600枚です。赤い羽根の共同募金を通じて思いやりの心や助け合いの意義が伝わることを願っています。



©L5/YWP-TX

協力団体募集

協力募金にご協力くださる市内の企業、施設、団体などを募集しています。協力方法は・・・

法人募金

企業・店舗など法人としての募金です。協力店シールを差し上げます。

募金箱設置

市内の店舗や施設などで設置頂いています。



共同募金協力型 自動販売機の設置

赤い羽根のロゴが入った自動販売機です。負担は月々の電気代と設置場所の提供だけ。気軽に社会貢献ができます。売上げの一部は共同募金会を通じて地域の福祉活動に役立てられます。また、売上げの一部が手数料として販売協力会社から支払われます。ご協力をよろしくお願ひ致します。



社会福祉法人 賀光会 内

小地域ネットワークの活動推進事業 福祉委員会活動を 紹介します！

藤井寺市内で福祉委員会が結成されてから、今年で16年目を迎えます。日頃なかなか家族以外の人と話す機会の少ない高齢の方や障害をお持ちの方が、お互い顔の見える関係を作るきっかけづくりとして、注目されているのがサロン活動です。

やわらかい町地区は、

さくら町地区は、UR都市機構が運営する公団が広がる地域です。

地区の福祉委員は現在3名です。その限られた人数で、定期的な見守り声かけ訪問に留まらず、新年会や食事会、コーヒーサロンなど、交流の場を増やし、住民同士による支え合いの輪を広げています。

「コーヒー香るサロンの場」

毎月第4土曜日、地区の会館では、喫茶「コーヒーサロン」がオープンします。無料で美味しいコーヒーが飲めると、リピーターも後を絶ちません。7月の暑い夏の日も、コーヒーの香りに誘われるよ



皆、笑顔でハイチーズ♪

「家から一歩出て、ここに来たら寂しくないよね」顔見知りの方ばかりで、微笑む女性の姿もあります。



素敵な作品の展示で、サロンがより華やかに☆

カラオケ、お喋り、展示品の鑑賞。サロンでは、皆さんそれぞれが、自分の好きなことを楽しんでいます。途中参加・退出もオッケーです。この自由・気軽さがサロン人気の秘訣になっています。

部に地域の端には、地域の方が持ち寄った、写真や絵画、川柳、手作りの絵本など、素敵な作品が飾られています。

地区を支えるご夫婦

このサロンの場が地域の方の居場所を作り、人と人をつなぐ架け橋になりました。

「皆さんが仲良く楽しんでもらったら、それだけでいいんですよ」と優しい表情で話すのは、地区代表の中谷さんです。中谷さんは、平成17年から奥様と共に、福祉委員として地域を支えています。サロンの始めたのは、平成23年のことです。

「喫茶店を開いたら来てくれるかもしれない・・・」何度自宅に訪問しても留守で会えない、その苦勞の中で思いついたのが、「サロン」でした。

地域内で活動が広まりをみせ、写真や絵画を持って来て下さるなど、地域の方の協力も増え、今では皆さんが楽しみに訪れる憩いの場があります。

「負担になってないから、続けられるのよ」と中谷さんの奥様。

参加者と一緒にサロンを楽しむ二人の姿からも、その思いが感じられました。今日も、ご夫婦で地区に笑顔という名の「さくら」の花を咲かせています。



今日も美味しいコーヒーを入れてお待ちしています♪

一口メモ 福祉委員ってなあに？

Q 主な活動は？

A 地域の主にお一人暮らしの高齢の方・障がいの方を対象として、見守りや会食会などの行事を実施しています。

Q 福祉委員の人数は？

A 市内では約230名です。(平成28年10月1日現在)

Q どのようにしてなるの？

A 地区が候補者の推薦を挙げ、社協が委嘱をしています。

Q 資格要件は？

A 一切問いません。「地域の役に立ちたい」の思いだけで皆様活動して頂いています。活動に関心のある方は、社協までお気軽にご連絡下さい。

小地域ネットワーク スキルアップ研修会 報告

7月4日は「孤立を防ぐために」のテーマで甲南女子大学 鈴木大介先生に、13日は「個人情報取り扱いについて」のテーマでさくら大阪法律事務所 岡崎倫子先生にご講演を頂き、講演後は各テーマに沿って意見交換会を行いました。



意見交換会の様子

初めて開催した研修会でしたが、区長・民生委員児童委員・福祉委員の方々が多数ご参加下さいました。今後地域での活動に役立つ研修会を企画していきたく思います。

【N】認知症になっても 【I】いきいき暮らせる 【C】街って 【E】ええやん！ ⇒ 『NICE！藤井寺』を知って下さい！

認知症はけっして他人事ではありません。いつまでも住み慣れた藤井寺市で安心して生活できるように、地域包括支援センターでは市民の方と協働しながら様々な取り組みをしています。

●『NICE！やまびこ』介護者家族の会

介護者にはホッと一息つける場所が必要です。抱え込まずに一度覗いてみませんか？あなたの参加をお待ちしています。

- 毎月第一水曜日 午後1時15分～2時30分 福祉会館2階にて
- 認知症の方、ご本人も参加されています。

● 認知症家族セミナー「映画上映会」

（作品名・しわ）

映画（アニメ）を通して認知症の事を考えてみませんか？

- 10月26日（水）午後1時30分～3時30分
- 福祉会館2階にて
- 無料



(C) 2011 Perro Verde Films-Cromosoma,S.A

- 定員 約30名 事前の申し込みが必要です。
- 映画は字幕です。吹替えではありませんのでご注意ください。
- 認知症の方ご本人の参加も可能です。

● 『NICE！藤井寺親父パーティー』

「NICE！藤井寺」を合言葉に、自分たちが認知症になってもいきいき暮らせる街になる為のアイデアをどんどん出し、実際に活動に繋げる取組を行っています。アイデアは無限大ですが、いつもうまくいくわけではありません。それでもやってみるのが親父パーティー。昨年、全国キャラバン・メイト連絡協議会（厚生労働省委託事業）実施の「認知症サポーターキャラバン 平成27年度表彰・報告会」において優良活動事例として表彰され、ますます全国から注目されています。メンバー募集は随時行っております。お問い合わせ下さい。もちろん認知症と診断された方の参加も可能です。あなたの親父パワーを求めています。



問合せ先：藤井寺市地域包括支援センター
072-937-2641

ボランティアセンターよりお知らせ!

【問合せ先】 藤井寺市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL : 072-938-8220 FAX : 072-938-8221
メール : fureai@silver.ocn.ne.jp HP : http://www.fujiidera-shakyo.net

災害ボランティア養成講座2016

日頃個人では経験できないような講座や実践的な体験を通じて、災害ボランティアや大規模災害の備えについての技術や関心を高めることを目的とした講座を始めました。
(今年度、全4回実施予定)

報告

【災害ボランティア養成講座2016(その1)】

8月31日(水)、ふれあいセンター(市立福祉会館)2階講座室にて、災害ボランティアの第1回目の養成講座を実施しました。仮想の一次避難所である校舎の配置図を見ながら、「もし、ペットを連れてきた市民がいたらどう対応するか?」「介護や支援を必要とする市民の相談に、どう対応するか?」など具体的な状況を想定し、参加者(54名参加)が、グループに分かれ、支援者としてみんなで解決策を考える研修が行われました。



熱のこもった講演の様子



グループに分かれ、いざ図上訓練!!

募集!

【災害ボランティア養成講座2016(その2)】

AEDの使い方や身近なものを使った応用手当てを学びます。※日本赤十字社と共催で実施します。
テーマ:「応急手当を学ぼう!!!」
講師:日本赤十字社大阪府支部職員
日時:11月29日(火)午後1時~4時
場所:ふれあいセンター(市立福祉会館)2階講座室
募集人数:40名(先着順)

ボランティア連絡会公開研修会

最近よく聞くけど詳しくは知らないNPOのこと。この機会に、NPOの活動について、一緒に学び、考えてみませんか?
テーマ:「NPOってなあに?」
〜寝屋川市の実践をみつめて〜

講師: NPO法人 寝屋川あいの会

代表: 三和 清明氏

日時: 12月14日(水) 午後2時~4時

場所: ふれあいセンター(市立福祉会館)2階講座室
*事前申し込み不要です。お気軽にご参加下さい。

平成28年熊本地震支援職員派遣

「被災財を見らんで人ば視る おったちが何とかしたかとは人たい!!」

大津町災害ボランティアセンター愛言葉

平成28年4月14日以降の地震により、熊本県、大分県は大きな被害を受けました。被災された方々の生活再建のため、災害ボランティアセンターが各地に立ち上げられました。藤井寺市社会福祉協議会からは、5月30日~6月3日の5日間、大津町(おおつまち 熊本県菊池郡)災害ボランティアセンターの運営支援に職員1名を派遣しました。

大津町災害ボランティアセンターには、大阪・和歌山・沖縄及び近隣市町から支援職員が派遣され、支援にあたりました。派遣時の大津町の状況は、災害から1ヶ月以上が経過し、ニーズがある程度落ち着き、自宅での生活の再開、再建の段階へと移ろうとしていました。とは言え、家財が倒れたままの部屋で生活されている方、高齢の1人暮らしを理由に被災した自宅の建て替えをあきらめそのまま自宅での生活を続けられる方など被害の大きさ、生活への影響の大きさを目の当たりにしました。そのような中で、ボランティアの方々の熱い思いや優しさは被災した方々を励まし、復興への大きな力となっています。

ストップ! 孤立 ~みなさんの「目配り・気配り・心配り」をお届けください~

地域からの孤立を防ぐには、隣近所、福祉委員、民生委員児童委員、区長、介護事業所、配達業者など様々な立場の方による「目配り・気配り・心配り」が必要となります。藤井寺市社会福祉協議会では、地域の一人ひとりの取り組みと、民間業者による取り組みを合わせた、多様な主体による地域見守り活動を展開しています。皆様の普段の生活からの「ちょっとした変化や気付き」をお届けください。



啓発用ステッカー

日常生活自立支援事業支援事業について

福祉サービスを利用したいけれど、手続きの仕方がわからない。銀行に行ってお金をおろしたいけれど、自信がなくて誰かに相談したい。商品勧誘の人が来たとき、どう対応していいかわからない。

市内に暮らす、認知症や知的障がい、精神障がいの方の中で判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービス利用の申し込み、契約手続き、日常的なお金の出し入れ、預金通帳の預かりなどの手伝いをしています。

事業の詳細な内容や問い合わせは、下記までご連絡下さい。

藤井寺市社会福祉協議会

TEL : 072-938-8220

ご寄贈ありがとうございます

今年度、藤井寺市社会福祉協議会に対し、藤井寺ライオンズクラブ様からカラーベストをご寄贈いただきました。今後、地域福祉に関する様々な行事やイベントの際に、大切に活用させていただきます。本当にありがとうございました。



あてきな夏休みの思い出ができました！



小学生ボランティア体験



初めて参加する人も、今年が最後の6年生も、皆さん講師の方の話を真剣に聞きながら、意欲的にイキイキと参加されていました。この体験を通じて、地域のボランティアや福祉の事を身近に感じてもらえたらと思っています。参加していただいた6年生の皆さんの感想文を一部掲載します。

「朗読体験」(藤井寺市朗読の会ひびき)

●今回で3回目今回は人が少ない分あんまりみんなでいろいろしゃべれなかったけど、いろいろ経験できてよかったです。あと、はじめての物語で難しい文が続いているとかがあったけどうまくできたのでよかったです。また機会があればやりたいです。(藤井寺西小)

●目の見えない人にお話を伝えるのがすごく難しかったです。アイマスクをつけて館内を歩いたら、どこに何があるかを教えてもらってもこわかったです。自分の声を録音する時はすごく緊張しました。(藤井寺小)

●ろうどくのことをいろいろ教えていただいて楽しかった。(道明寺小)



「おはなし読み聞かせ体験」

(藤井寺市ボランティアサークルおはなしころりん)

●最初におはなしころりんさんの読み聞かせをしてもらって、間のとり方やページのめくり方にも気を使っているのを見てすごいと思いました。発表会をしてみると練習したように出来たし、声もとどいてよかったです。これからは家族の人や友達にも本を読んであげたいなと思いました。(藤井寺西小)



「おもちゃづくり体験」(シルバーアドバイザー 藤井寺)

●いろいろなおもちゃの作り方を教えてもらい、すごく楽しかったです。また、家でもこのようなおもちゃを作ってみたいと思いました。(藤井寺小)

●ストロー風車は難しかったけど完成したのでうれしかったです。紙キュービックは最初作った時は難しく何分もかかったけどだんだん慣れてきて短い時間でできたのでうれしかったです。ブンブンゴマはキレイにまわったのでよかったです。(藤井寺小)

●ほとんどわからなくて6年生なのに全部手伝ってもらったので、全部作ることができました。むずかしいのが多くてとてもたいへんでした。教えてもらったのが全部できるようになりたいなと思いました。(藤井寺小)



「お手玉体験」(お手玉サークル遊)

●お手玉とヨーヨーを作ったけど糸でぬうのが難しかったです。でもまた家でお手玉を作ったりヨーヨーを作ったりしてみたいです。今日は楽しかったです。(藤井寺小)

●お手玉は大好きです。でもあんまりぬうということは得意ではありませんでした。こんなに作るのが難しいとは知りませんでした。お手玉にはいろんな種類があってこんなに楽しい挑戦ができるとは知りませんでした。お母さんやお父さんにこの今日教えてもらったことを伝えるのがとても楽しみです。また、お手玉を体験したいです。ありがとうございました。(道明寺南小)

●2個のお手玉を少しできてやさしくしてくれてとてもやりやすかった。日本の遊びはこんなに楽しかったんだなと思いました。ありがとうございました。(道明寺南小)



「手話体験」(手話サークルふじいでら)

●手話はテレビのニュースで見るくらいで、あまり興味がなかったけれど、話すことができない人のために手話を覚えることは大変だなと思いました。手話をたくさんの人に広めるために一生けんめい頑張っている人がいると知って、自分もまわりの人にたくさん教えようと思いました。(四天王寺学園小)

●耳の聞こえないしんせきが多いから手話の勉強できてよかったです。家に帰っても調べて覚えようと思う。(藤井寺小)

●初めて見て初めてやったけど、指文字はすごくしんどくて覚えるのがむずかしかった。自分の上の名前は覚えた。家で指文字を覚えたい。ありがとうございました。(道明寺南小)



「点訳体験」(点訳サークル藤井寺六星会)

●今まで自分は点字を使って文字を読んだことがなかったからむずかしかったけど分かりやすいように教えてくれて少しわかったし楽しかったです。次は中一になってるからこれないけど、これからも電車に乗るときに点字をみながらやっていきたいです。(藤井寺小)

●点字をうってみると読むのもうつのも大変なんだなと思いました。読むには全部おぼえないといけなからおぼえられるといいと思いました。また点字をうったり読んだりできるといいと思いました。(藤井寺小)



「認知症サポーター体験」(地域包括支援センター)

●認知症のことが知れてすごく勉強になりました。自分が知らないことも教えてもらったので、また家族にも教えようと思いました。最後のボランティア体験でした。ありがとうございました。(藤井寺小)



市内の公共機関に、社協だよりの最新号の点字広報を架下しています。是非ご覧下さい。